

いとうまい市長 施政方針
「これまでの芦屋と今のASHIYAを未来へつなぐ」

問い合わせ
政策推進課 ☎38-2127



本市は、11月10日に市制施行80周年を迎えます。阪神・淡路大震災からの4半世紀を含め、これまで本市の礎を築き上げてこられた先人に改めて敬意を表します。そこで、市制施行80周年記念事業では、「これまでの芦屋と今のASHIYAを未来へつなぐ」をコンセプトに、1年を通じて市が主催する事業のほか、市民の皆さんの企画や提案事業など、数多くの魅力あふれるイベントなど、次の100周年に向けてのスタートの年と位置付け、皆さんと共に喜び、祝う1年としてまいります。

今年度は「第5次総合計画」や「第2期芦屋市創生総合戦略」を策定いたします。特に、市政運営の柱となる「第5次総合計画」では「ASHIYA SMILE BASE」をキャッチフレーズに、国際文化住宅都市に相応しい住環境や暮らし、文化、地域のネットワークなど、芦屋ならではのまちの良さを継承しながら、市民と未来を共有し、協働することで、住宅都市としての強みを磨き、さらなる魅力

を創造してまいります。

今後は、人口減少・少子高齢化に伴い労働力も減少し、ますます多様化・複雑化する社会に適応できる柔軟な市政運営が求められます。人口が減少する中でも、社会の活力を維持し、行政サービスを持続可能な形で安定して提供し続けるために、将来の人口構造に合わせた最適な行政サービスの在り方を常に意識をしながら「人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市」のまちづくりを目指してまいります。

- ▶ 若い世代の子育ての希望をかなえるまちづくりを進める事業を実施します。
- ▶ 美しいまちなみを守り、磨き上げるまちづくりを目指し、住宅都市としての住環境を一層磨き上げ、安全・安心で良好な住宅地としての魅力を高めるまちづくりを進める事業を実施します。

芦屋の未来のための 主な事業と取り組み

人と人がつながって新しい世代につなげる

- 子どもや家庭への相談・支援の充実を目的とした子ども家庭総合支援拠点の開設(1,543万円)
- 岩園幼稚園における3歳児保育の試験的実施に向けた準備(100万円)
- 安心して出産・子育てができるよう退院直後に支援が必要な母子の健康管理などを行う「産後ケア事業」を芦屋病院で実施(451万円)
- 山手中学校建て替え完了(令和2年度)に向けた工事(8億4,000万円)
- 精道中学校建て替え完了(令和4年度)に向けた工事および令和3年1月からの給食の開始(31億8,342万円) ①
- 朝日ヶ丘幼稚園敷地への私立認定こども園の誘致のための建設費助成(1億8,684万円)
- 令和3年4月開園予定の市立認定こども園の整備(精道・西藏)(14億1,500万円) ②

- 市制施行80周年記念事業として、式典や映画制作の支援他、美術博物館・谷崎潤一郎記念館・図書館でのシンポジウム等の連携事業の実施
- 市制施行80周年にあわせた市民提案型事業補助金の増額
- 西宮市と連携した徳川大坂城東六甲採石場400年記念事業(講演会、パンフレット刊行等)の実施
- 東京オリンピック・パラリンピックのパブリックビューイングや競技体験会の開催
- 障がいのある方や高齢者等のスポーツ振興等を目的とした芦屋スポーツ推進協働事業の実施
- 同性パートナーシップ宣誓制度の開始
- 市ホームページ等の9言語での閲覧サービスの導入

- ひょうご女性未来会議の開催
- 就学前児童が小学校図書館を利用することでスムーズに小学校生活に馴染めることを目的として、ふるさと寄附金を活用した小学校図書館の環境整備の推進 ③
- 待機児童対策として放課後児童健全育成事業を行う民間事業者への運営費補助金の拡充
- 不育症治療の支援を目的とした医療費助成の新設
- 就学前児童およびその保護者の交流の場所としての地域子育て支援拠点(西藏)施設の整備
- 私立園に看護師を配置する病児保育事業(体調不良児対応型)の継続およびふるさと寄附金を活用した市立精道こども園に併設される病児保育事業の備品の整備



① 給食イメージ



② 精道こども園



③ 小学校図書館